

ESD 国際シンポジウム in 奈良 2024

2024年2月17日(土) 9:30-17:40 ホテル日航奈良 (奈良県奈良市三条本町8-1)

参加費無料 対面&オンライン/ハイブリッド開催 (要事前申込)

対象 教育関係者、研究者、行政関係者、企業、NPO・NGO、一般市民

定員 会場参加 150名
オンライン 500名

同時通訳
あり(日・英)

国境を越え、多様な主体が協働する教育(ESD)を通じた持続可能な社会の探求

“Seeking for Sustainable Society through Education Collaborating with Diverse Actors beyond Borders”

国内外の各分野の専門家を招き、「ESDに関する国際的な潮流と最新の動向」や「持続可能な社会の創り手を育成」に向けてグローバルなESDの実践を共有し、ESD for 2030の更なる深化を図ることを目的としています。

また、各分野それぞれの科学的な知見をもとに、「学術と教育」の連携・融合について議論し、ESDの推進・発展のための新たな学際的視点を模索します。

さらには、国内外のコースの視点から、次世代の観点から持続可能な社会創りへの学びや活動への提言や参画、ネットワークづくり等について議論を深め、交流の促進を図ります。

Program

Keynote Speech 基調講演

ESDの国際的な潮流と今後の動向(仮)

諸橋 淳氏 (国連ユネスコ本部 ESD 課長)



Presentation 各国・各セクターからの提言

Mukhsinkhuja ABDURAKHMONOV 氏	ウズベキスタン共和国 駐日特命全権大使
道田 豊氏	UNESCO 政府間海洋学委員会(IOC) 議長
斉藤 眞氏	ユネスコ日本政府代表部 一等書記官
Seo Hyunsook 氏	韓国ユネスコ国内委員会 国際連携部長
Tim Jones 氏	Gladney Farm(北海道) 牧場長 *オンライン参加

ESD Symposium 実践発表・パネルディスカッション

Kim Hyuncheol 氏	韓国青少年政策研究院 院長
Athapol Anunthavorasakul 氏	Chulalongkorn 大学 (タイ) 教授
Muzailin AFFAN 氏	Syiah Kuala 大学 (インドネシア) 国際室長
杉村 美紀 氏	上智大学総合人間科学部 教授

申し込み

右のQRコード又は下記URLからお申し込みください。
URL <https://forms.office.com/r/UvHLYkxgHa>



問い合わせ先

奈良教育大学 教育研究支援課 ESD 事務担当 西田・古川
TEL: 0742-27-9367 / FAX: 0742-27-9147 / Email: k-soumu@nara-edu.ac.jp

主催 奈良教育大学 / 奈良教育大学ESD・SDGsセンター

後援 日本ユネスコ国内委員会、日本ユネスコ協会連盟、公益社団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) ESD活動支援センター、日本ESD学会、特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)

ESD 国際シンポジウム in 奈良 2024 Program

【午前の部】9：30－12：30

祝辞 文部科学省国際統括官・日本ユネスコ国内委員会事務総長 渡辺 正実氏

Keynote Speech 基調講演

ESD の国際的な潮流と今後の動向(仮) 講師 国連ユネスコ本部 ESD 課長 諸橋 淳氏

Presentation 各国・各セクターからの提言

- ①「世界の中の日本の ESD の貢献：ESD の提唱国としての役割」(仮)
ユネスコ日本政府代表部 一等書記官 齊藤 眞氏
- ②「韓国における ESD の取組：ユネスコスクールの活動と国際連携」(仮)
韓国ユネスコ国内委員会 国際連携部長 Seo Hyunsook 氏
- ③「ESD 推進に向けた科学の果たす役割：国連海洋科学の 10 年を通して」(仮)
UNESCO 政府間海洋学委員会 (IOC) 議長 道田 豊氏
- ④「中央アジアにおける世界遺産教育：シルクロードを通じた歴史文化の交流」(仮)
ウズベキスタン共和国 駐日特命全権大使 Mukhsinkhuja ABDURAKHMONOV 氏
- ⑤「ESD/SDGs の視点からの牧場経営を通じた持続可能な食糧生産」(仮)
Gladney Farm (北海道) 牧場長 Tim Jones 氏

【午後の部】13：30－17：40

ESD Symposium

各国・各地域の実情と国際的な諸課題を踏まえた多様な ESD の取組を共有し、実践的な ESD の在り方や次世代の育成について議論し、ESD の国際的な連携と協働を促進する。

Show Case 実践発表

- Case1** 「タイにおける ESD の取組：ESD を通じたタイと日本との連携の可能性」(仮)
発表者：Chulalongkorn 大学(タイ) 教授 Athapol Anunthavorasakul 氏
- Case2** 「災害の教訓を学び合う：スマトラ地震と東日本大震災の共有」(仮)
発表者：Syiah Kuala 大学(インドネシア) 国際室長 Muzailin AFFAN 氏
- Case3** 「日本におけるグローバル教育：ESD による国際連携と協働」(仮)
発表者：上智大学総合人間科学部 教授 杉村 美紀氏
- Case4** 「韓国における持続可能な社会創りへのユースの参画と連帯」(仮)
発表者：韓国青少年政策研究院 院長 Kim Hyuncheol 氏
- Case5** 「持続可能な社会の創り手の育成に資する教員の養成と研修：奈良教育大学の取組」
発表者：奈良教育大学 学長 宮下 俊也／ESD・SDGs センター センター長 中澤 静男
- Case6** 「日本における ESD へのユースの参画：奈良教育大学ユネスコクラブの取組」(仮)
発表者：奈良教育大学ユネスコクラブ 代表 苗代 昇妥

Panel Discussion パネルディスカッション

- パネリスト** Mukhsinkhuja ABDURAKHMONOV 氏(ウズベキスタン共和国 駐日特命全権大使)
Kim Hyuncheol 氏(韓国青少年政策研究院 院長)
Athapol Anunthavorasakul 氏(タイ・Chulalongkorn 大学 教授)
Muzailin AFFAN 氏(インドネシア・Syiah Kuala 大学 国際室長)
杉村 美紀 氏(上智大学 総合人間科学部教授)

コーディネーター 及川幸彦(奈良教育大学 ESD・SDGs センター副センター長)

Closing Session 総括セッション

コメンテーター (予定) 諸橋 淳氏 道田 豊氏 齊藤 眞氏 Seo Hyunsook 氏